

教材教具名	買い物の学習	教科 (数学)	情報提供者 ()
-------	--------	---------	-----------

教材教具写真 ① 値札つきの商品 ② お店による商品の分類



教材教具の概略 (ねらいと使い方) ※ 発達段階や教科上のどの課題で、どのように使ったか等

- 1 ねらい
 - ① 実際の買い物をイメージしながら、商品の選択、お金の支払いができる。
 - ② スーパーやデパート等での買い物をイメージしながら、どのお店にどんな品物があるかを分類できる。
- 2 発達段階など 金種 (硬貨) の理解ができており、お金の扱いに慣れる段階の生徒
- 3 使い方
 - ① 自分が買いたい商品 (すべて消しゴムでできています) を選び取ってかごに入れ、お財布からお金 (硬貨) を出してその商品の代金を支払う。(複数の場合もあり。その場合は電卓等を使って計算する。)
 - ② マジックテープでくっついている商品を全部とり、お店を見比べたり、商品を見比べたりしながらくっつける。

児童生徒の反応や教材の評価 使ってみての感想・改良発展のアイデア等 (次に利用する方のために)

買い物学習は、実際にお店に出かけて体験することが何よりも効果的ではありますが、なかなか実際に買い物学習に出かけることはできません。また、教室内全体を使って買い物学習をすることも難しい場合が多く、机上での学習をする際に少しでも実際の買い物をイメージしやすくするために作成しました。①の教材の箱のふたを開けると、この教材を使って学習したどの生徒も興味関心をもって商品を見ることができ、商品の選択、代金の支払いの学習に対してとても意欲的でした。また、お客さん役の際だけでなくお店屋さんになった際にも、教師が選んだ商品を受け取って袋に入れて手渡すことも、商品は小さいですが実際のお店での活動をイメージしながら学習できました。商品の消しゴムは次々と新しいものが市販されており、興味関心をもちやすいものにもすぐに変更できます。②の教材はシールでの教材でしたが、何度も使えるマジックテープでの教材に作り変えました。大型スーパー等に出かける機会が最近が多いのでこの教材で学習したのですが、どこで何をかうのか理解を深めるのに効果的でした。